

CBフープ工法

コンクリート構造研究室

概要 CBフープ(Combination Hoop)工法は、RC柱部材の耐震補強工法です。本工法は、既設柱部材に分割した帯鉄筋を配置し、これらを固定用鋼材と吹付けモルタルにより一体化させるRC巻立て工法です。帯鉄筋を分割施工することにより、従来の鋼板巻立て工法では困難であった狭隙部の施工を可能にし、さらに型枠作業を省略することで、低コスト、短期施工を実現しました。

特許 第4917135号

特徴

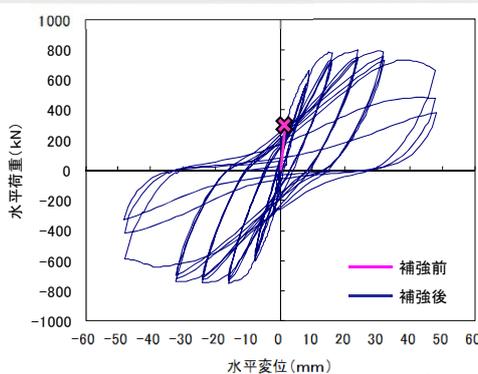
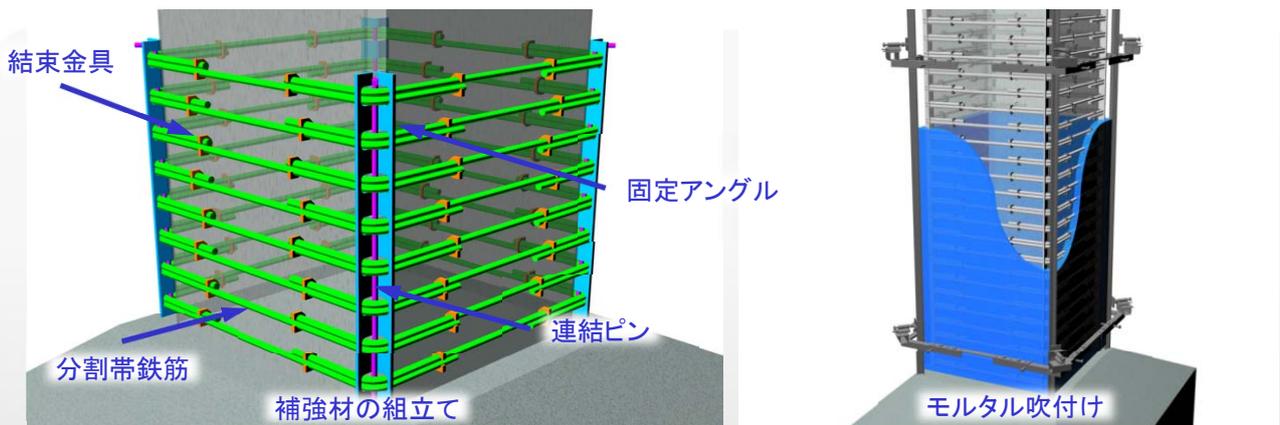
- ・補強材に鉄筋、一般構造用鋼材を使用しており、特殊な補強材を必要としません。
- ・帯鉄筋の分割により、狭隙部、人力での施工が可能です。
- ・吹付けモルタルを用いることで、型枠工を省略できます。
- ・吹付け困難な場合、型枠充填によるモルタル施工も可能です。
- ・鉄筋の組立にラック状の組立治具を使用することで、組立速度が向上します。

工期と工費 □800mm×800mm×6mの柱の場合
一般的な鋼板補強と比較して、工費を約20%低減できます。

- ・補強のみ(掘削、付帯工含まず。)
- ・共通仮設費、現場経費、一般経費含まず。

ただし、施工条件により工期・工費は変わります。詳細は別途ご相談ください。

問合せ先 東急建設(株) 土木本部土木技術設計部技術企画グループ TEL:03-5466-5272



補強による耐力、変形性能の向上を確認しています。



本工法は、東急建設株式会社との共同研究にて開発したものです。